

# 石巻市下水道事業経営戦略の概要

## 経営戦略策定の趣旨

復旧・復興事業を早期に完了させ、今後、経営等の現状を正確に把握した上で、将来にわたって持続的・安定的に下水道サービスを提供していくため、中長期的な視野に基づき計画的な経営に取組、徹底した効率化や経営健全化を行うことが必要なことから策定

### ○ 総務省からの要請等

- ・ 経営戦略の策定を要請
- ・ 平成28年度から平成30年度までの間、集中的に策定を推進し、平成32年度までに策定率100%を目指す
- ・ 水道の高料金対策及び下水道事業の高資本費対策に要する経費に係る平成29年度からの交付税措置に経営戦略策定を要件化⇒

**平成28年度中に「経営戦略」を策定しないと、例外なく交付税措置がなくなる。**

※ 参考…平成28年度高資本費対策に要する経費に係る交付税措置額

《下水道事業(特定環境保全公共下水道事業):36,297千円、農集集落排水事業:15,542千円、漁業集落排水事業:1,295千円、浄化槽整備事業(特定地域生活排水処理事業):332千円》

計画期間:平成28年度から平成37年度までの10年間

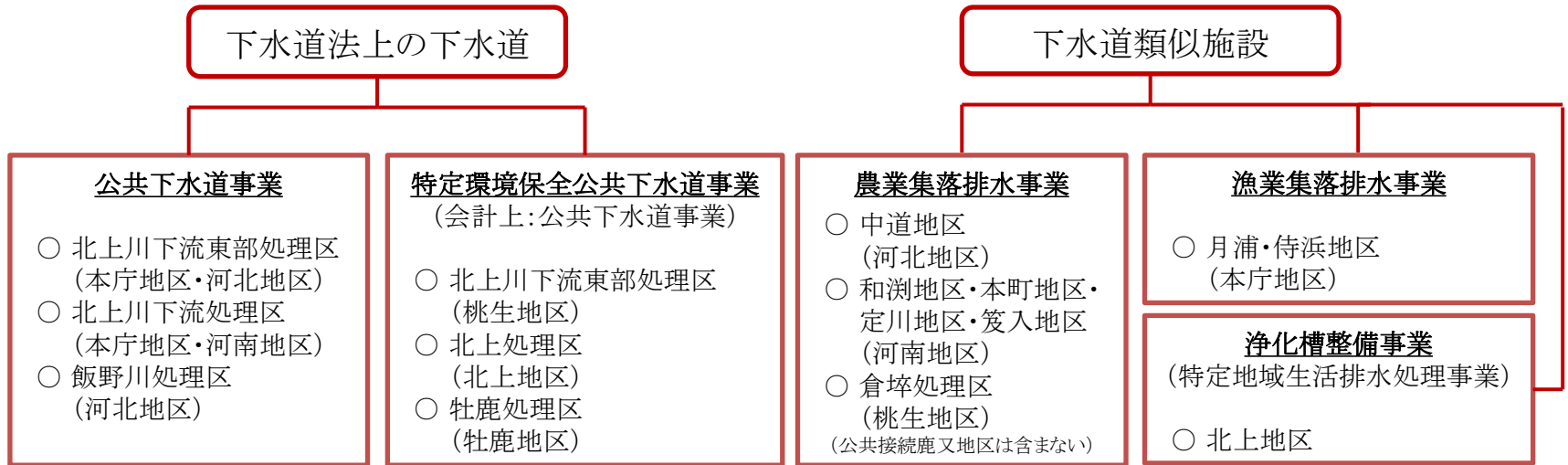
### ○ 策定の背景(下水道変革期)

- ・ 東日本大震災からの復旧・復興の途中
- ・ 復旧・復興期以降、未確定要素が多く、明確な歳入見通しが立ちにくい
- ・ 計画と実施の乖離状態
- ・ 平成32年度から公営企業会計に移行

⇒ 暫定的計画内容

# 下水道事業の現状

## 下水道事業の種類(会計上4事業特別会計)



- 整備等の状況(全事業総計)
  - ・生活排水処理人口普及率 74.2% (県内13市中9番目)
  - ・水洗化率 76.7%
  - ・整備面積 3,185.1ha
  - ・整備率 78.8%(対認可)

- 経営の現状(全事業)
  - ・下水道等使用料  
平成23年4月使用分から全市料金体系統一  
震災後公共が大幅な伸び
  - ・有収率・調定件数  
震災後公共は共に大幅な伸び
  - ・一般会計からの繰入金  
赤字補てん分となる基準外繰入は、復興交付金事業・災害復旧事業が該当し、現在は突出して多くなっているが、当該分を除くと基準外繰入の割合が減少
  - ・経費回収率・汚水処理原価  
事業間に格差有
  - ・企業債残高  
年々減少傾向

# 経営の基本方針(財政・投資計画)

基本方針

～未来につなぐ豊かな水辺環境を育む下水道～

三つの基本目標

取組内容

## 1 健全で継続的な経営(経営基盤強化)

人口の減少等の中で、下水道サービスを安定的に継続して提供するため、経営基盤の強化を図って行きます。

- ① 公営企業会計法適用
- ② 水洗化率の向上
- ③ 収納率の向上
- ④ 不明水対策
- ⑤ 広域化の推進・維持管理費の抑制
- ⑥ 下水道等使用料・受益者負担金(分担金)の改定
- ⑦ 定員管理
- ⑧ 情報公開

## 2 快適な暮らしの実現(投資効率化)

石巻市生活排水処理基本構想に基づき、効率的な投資と面整備を図って行きます。

- ① 計画的な投資のための生活排水処理基本構想の実現
- ② 適正な維持管理による長寿命化
- ③ アセットマネジメントの推進

## 3 市民の生活を守り支える(危機管理強化)

震災による地盤沈下を踏まえた石巻市雨水排水基本計画に基づき、災害に強い街づくりを行い、危機管理の強化を図って行きます。

- ① 計画的な雨水整備
- ② 危機管理体制の強化

# 経営戦略の進化

## PDCAサイクルのスパイラル・アップ

Plan (計画策定) ⇒ Do (実施) ⇒ Check (検証・評価) ⇒ Action (見直し・改善)

